

平成27年度特別会計決算 **認定**

国民健康保険事業

区 分	27年度末	前年度比増減
国保世帯数	9,453世帯	△259世帯
加入世帯率	49.7%	△2.0%
退職者等加入者	577人	△85人
一般若人加入者	18,412人	△816人
国保人口合計	18,989人	△901人
国保加入率	39.3%	△1.1%
診療費用総額	71億8,342万5千円	△3,781万円
一人当り診療費	37万8,294円	1万5,235円

歳入総額
106億1,057万5千円

歳出総額
104億4,700万1千円

実質収支額
1億6,357万4千円



《概要》

一般被保険者・退職者等加入者の診療費用総額は前年度より減少したが、一人当たりの診療費は増加しており、偏った食生活や運動不足など好ましくない生活習慣の積み重ねで引き起こされる生活習慣病関連での受診が多く、今後も注意深く見る必要がある。

単年度収支では8年連続赤字となり、財政運営は大変厳しいものになっている。引き続き保険税収納対策、医療費適正化対策、特定健診事業等の充実・強化を図る必要がある。

簡易水道事業

歳入総額
23億783万5千円

歳出総額
22億7,470万9千円

実質収支額
53万2千円

前年度決算額に対し、歳入で2.6%の減、歳出では2.7%の減となった。

平成30年度の企業会計への移行に向け、経常経費の縮減を図るため簡易水道事業債の任意繰上償還を5億3,836万9千円実施した。

前年度に引き続き国庫補助による簡易水道統合整備事業を実施した。市内の多くの施設は老朽化が進んでおり、これからも順次施設の更新事業を実施し有収率の向上を図る必要がある。

下水道事業

歳入総額
7億6,161万円

歳出総額
7億4,295万円

実質収支額
2万6千円

加入率は、口之津処理区で1,362戸の約63%、南有馬処理区は361戸の約47%、西有家町慈恩寺・見岳地区農業集落排水事業整備地区は256戸のうち142戸の約56%となっている。

後期高齢者医療

歳入総額
6億2,895万8千円

歳出総額
6億2,804万8千円

実質収支額
91万円

被保険者数は27年度末9,756人で、前年度から66人増加している。保険料は3億9,236万7千円、収納率99.5%となっている。また、一人当たりの医療費は101万9,671円で、前年度より2.8%増加している。